



平成26年10月15日

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 2〜3面 | 松川町音楽祭                         |
| 4面   | まつかわ大学                         |
| 5面   | トランポリン教室                       |
| 6面   | みんなで仲良く・青年の家だより                |
| 7面   | スポーツ・情報<br>ひと・すぽっと<br>こどもの詩・俳句 |
| 8面   | 声・視点・ペンペン草                     |



## まつかわ百景 ⑧4

### 「観陽丘の夕日」

標高約900mにあり、信州サンセットポイント100選に選ばれた峠にある観陽丘から見た夕日。台風18号が通過した日、台風一過の綺麗な夕日となった。

松川町消防団として初めて救護技術大会に出場しました。大会の訓練は1ヶ月間ということで、密度の濃いハードな訓練に取り組みました。仕事もしつつなので、日程を聞いた時は頑張りたいという気持の他に不安感がありました。大会では、三角巾リレーと一次救命処置の二種目に出場するというところで、まずは三角巾での手当ての訓練をしました。覚えなければならぬことが多く、必死でした。制限時間もあり、焦ってしまつて左右を間違えるという初歩的な失敗もしました。何とか形にはなりましたが、見栄えもタイムもまだまだでした。

一次救命処置は心肺蘇生と生命の兆候を同時進行で行う競技で、自分は心肺蘇生の訓練をしました。胸部圧迫や人工呼吸に結構体力がいるのと同時にAEDの操作など冷静さも必要で、なかなか大変でした。

今回選手として訓練を重ねる中で普段学べないことがたくさん経験でき、よかったですかなと思います。

今回の経験や知識を生かせる場面に遭遇したら、きっと恐怖感、不安感もありますが、消防団員として積極的に動きたいと思います。しかし一番は、そういう出来事が起こらないことを祈るばかりです。

消防団1分団1班 米山拓也

## 主張

### 技術大会を経て

### 救護への心構えを新たに

救護に関しては、訓練で少しだけ勉強していましたが、実際にはほぼゼロからのスタートでした。

三角巾は、たたみ方から始まり、12種類の手当ての方法を覚えるだけではなく、傷病者への気遣い、声かけも必要です。また、綺麗に素早く完成させなければならず大変でした。

一時救命処置も、生命の兆候の観察など初めてやる事ばかりで、覚えるまでかなり時間がかかりました。

大会当日は、長野県内から様々な年齢層、団体が出場し、会場の雰囲気もあり、とても緊張しました。傷病者の設定など大部分の競技内容は、当日明らかになるという難易度の高さでしたが、精一杯訓練の成果を発揮できるよう頑張りました。

結果としては、47チーム中27位とあまりいい成績ではありませんでした。

しかし大会に出場することで、ケガをしている人、倒れている人に対してどうすればいいか理解が深まり、処置できるようにになったことはよかったです。

非常事態に、誰よりも適切な処置ができる知識と自信がつけたいし、救われる命が一つでも多くなるために頑張っていきます。

消防団1分団2班 山田和寿

# ！町音楽祭

町民の音楽の祭典、松川町音楽祭が今年も行なわれました。今回は25回目の節目を迎え、より盛大に開かれました。

オープニングからエンディングまで15のステージ発表が行われ、発表した参加者は280人。また、鑑賞に訪れた皆さんは250人ほどと、立ち見が出るほどに盛り上がりました。

長く開催されてきた音楽祭ですが、今回初出場されたグループもあります。「歌を通して健康に」と活動されているうたけん合唱団・松川少年少女合唱クラブや、松川高校の生徒たちも合唱では初出場となりました。

また、この記念すべき今年が最後の発表となった団体もあります。松川東小学校のみなさんは、来年度中央小学校に統合されることから、東小学校として参加するのは最後となりました。最後の音楽祭では子どもと先生と一緒に校歌も披露し、会場の皆さんと思いを作りました。

25回目を記念した今回の音楽祭では、特別プログラムのミニコンサートで、プロの音楽家のミニ

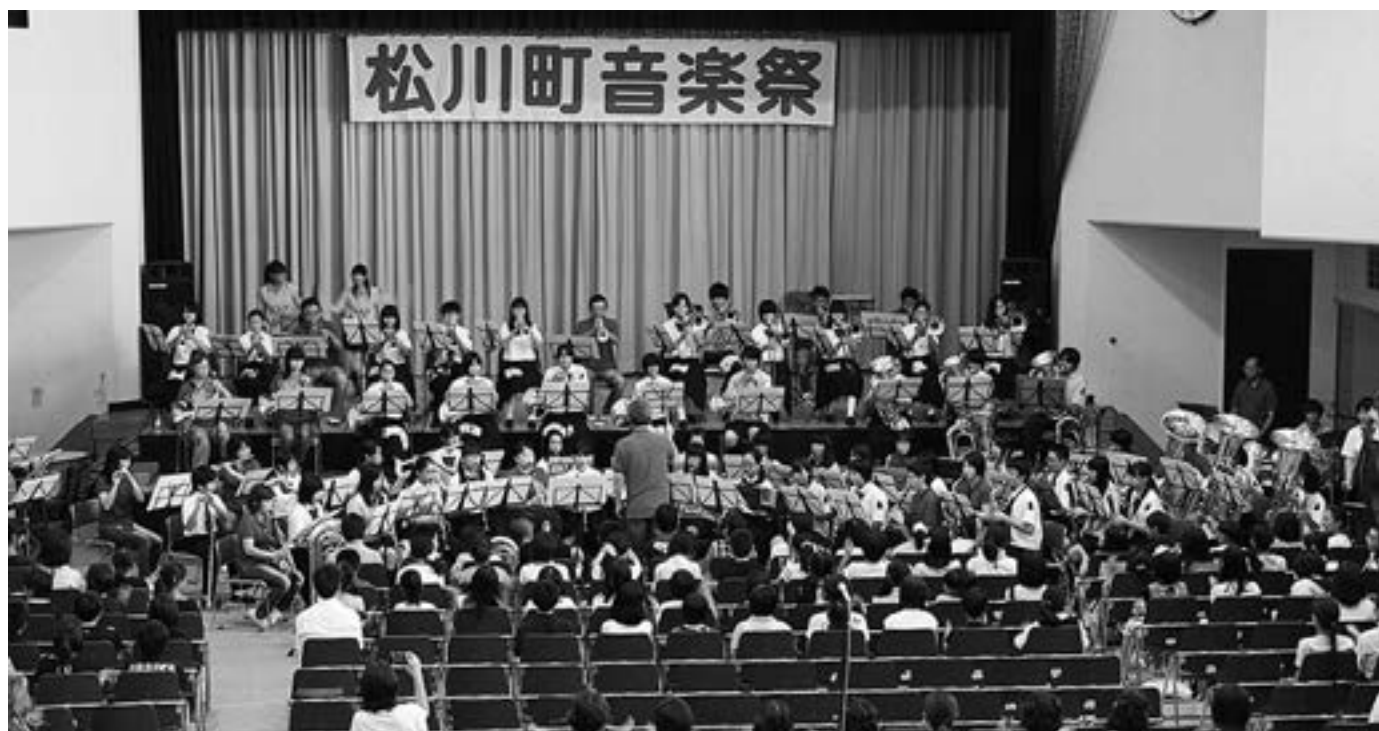
ンサートが開かれました。

出演者は、堀内千咲さん（メゾソプラノ）、堀内千鶴子さん（ソプラノ）、マテー千佐子さん（ピアノ）です。そのうちのお一方、堀内千鶴子さんが、この音楽祭の出演グループであるうたけん合唱団の指導をされていることが縁で実現しました。アメージング・グレイス、トルコ行進曲、ふるさとの3曲が披露され、音楽家の歌声に会場の皆さんは酔いしれました。

今年は、5月に「オーケストラと共に音楽祭コミュニケーションコンサート」も開かれており、その時の曲も演奏されました。

コミュニケーションコンサートで、ひとはな四重奏団の演奏で合唱した「変わらないもの」は松川町音楽祭のオープニング曲として参加者全員で合唱し、また合同演奏した「サンバ『ブラジル』」も、松川町音楽祭で再び合同演奏されました。

特別なプログラムと曲目は、まさに25回記念にふさわしいすばらしいものとなりました。聞きにこられた方から、「老人も生きる元気をいただきました。全員のほうが最高です。



合同演奏「GUTS！」

# 世代を超えて 9月7日(日)

# 集え



メゾソプラノ歌手 堀内千咲さん

来年を楽しみにしています。」  
「みんなとてもよかったです。  
音楽はいつ聞いても素晴らしいです。」  
「音楽は人の心を豊かにしますね。暖かくなりました。」  
「芸術の秋にふさわしい演奏会でよかったです。長く続くことを願う。」  
「音楽の素晴らしさをじゅんと感じたひと時でした。聞きこられてよかったです。」  
という感想もいただきました。多くの方に満足していただけたのだと思います。

町内の小・中・高校生、そして大人が一同に会して音楽祭を開催している市町村は、あまりないのではないかと思います。世代を超え、ともにそれぞれの良さを感じながら音楽を楽しむことがお互いの心のつながりを深め、町の音楽の向上につながると思います。この25回目を一つの節目として、更に音楽祭が盛り上がることを期待します。



全員で合唱「変わらないもの」

今回の講師は、(有)クロフネカンパニーの代表、中村文昭さん。会社の名前も中村さんについて予備知識無しでした。

夜店のテキヤの兄ちゃんが着ているような、ユルい服で登場した中村さん。

今、全国の中学・高校で講演が増えたので、スーツよりこの方が溶け込みやすいかなと考えられたそう。確かにブランドスーツより似合ってた

出会いを活かせば  
道は開ける！



まつかわ大学 第2講座 9月6日(土)  
中村 文昭氏

うで：(ほめてます！)

松川町へはお母様のお友達がいらつしやる縁で、りんご狩りにもいらしたそうです。

中村さんの人を引き付ける語りで場が和んだところで、自訓をご紹介します。

■ 返事は0.2秒！

■ 頼まれごとは 試されごと

■ できない理由は 言わない

■ 今できることをやる

中村さんは、いわゆる不良

少年。高校は謹慎処分連続。人に迷惑ばかりかけてきたと自分で言われました。でもそんなふうに見えない。しゃべりが芸人のように聞きやすい、けど話しの中身は教えがいつぱい詰まっています。涙もろい私は泣きそうでした。

そのなかで、お母様の話しが：とうとう泣きました。

学校から帰ると、どんなに忙しくても「今日は、どうやった？」と聞いてくれたそう。その一言が今の自分の基となっているとも。子どもが帰ると必ずお母さんが居る。そういう事が良かったと。母である自分を省みた時、大変、重いひとことでした。

18歳で単身上京。その時の実業家との出会いが人生の進路を決めたそうで、商売を手伝いながら貯めた資金を元に飲食店を開業。ふるさとの三重にも「クロフネ」を開業。また、多くの人の支持を得てレストランウェディング事業も。年間300回以上の講演をこなして、二ト・引きこもりの支援と精力的に活動されている中村さん。

講演が終わった時は、昔からの友達のような気になっていった感動いつぱいの時間でした。



中村さんの表情豊かなお話に  
笑いがあふれます

## 過去最多の参加！ 公民館 トランポリン 教室

公民館体育部では、本格的なトランポリンを使ったトランポリン教室を毎年町民体育館で開催しています。今年は9月5日と12日に行なわれました。

主に子ども達を対象としており、今年は両日とも60名ほどが参加しました。体験してみるととても楽しく、1日だけの参加だけでなく、2日間とも参加した皆さんも大勢いました。

トランポリンは床の上でジャンプするのは違い、力いっぱいジャンプするのではなく、腕を回す動作を加えることでだんだん高さが増していきます。体育部員が基本的な跳び方を指導し、小学生の高学年以上になると、ひざやお尻からついて跳ねるやり方など技にも挑戦しました。

昨年にも体験して楽しかったため今年も参加したという方もおり、今年は過去最多の参加人数になりました。そのため、一人が体験できる時間は少し短くなりましたが、トランポリンで跳ねる子ども達からは常に笑みがこぼれていました。

12日の最後には、公民館長から子ども達に修了証が渡されました。保護者の皆さんには、子ども達を会場へ送迎していただいたことに感謝しての感謝状を贈りました。

本格的なトランポリンの跳ね方は、とてもおもしろい体験となったのではないのでしょうか。



姿勢良く腕を回すのがコツ



# 秋深し 冬に備えて Let's スポーツ!

## 第30回中部伊那 軟式野球松川大会

第30回中部伊那軟式野球松川大会が、9月7日(日)に町内各地のグラウンドで開催されました。30回目の記念となる今大会には、南信地域から13チームの出場があり、秋空の下熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

優勝

中沢OB(駒ヶ根市)

準優勝

TEAMマジ(駒ヶ根市)

第3位

松川ファイターズ(松川町)

FB2(新家)(伊那市)

## 第99回飯伊地区 秋季剣道大会

第99回飯伊地区秋季剣道大会が、9月28日(日)に飯田市武道館で開催されました。松川町から大島剣道クラブが団体戦に出場され、好成績を収めました。

結果は次のとおりです。

小学生高学年男子の部

優勝

先鋒 長砂 秀飛

次鋒 荒川 想太

中堅 平島 颯人

副将 北原 明人

大将 熊谷 眞綱

小学生高学年女子の部

準優勝

先鋒 加賀田 穂

中堅 水野 佐映

大将 倉田 珠生

中学生女子の部

優勝

先鋒 宮澤 芽生

中堅 荒川 音花

大将 橋場 萌

一般男子の部

第3位

先鋒 宮下 泰使

次鋒 佐藤 幸太郎

中堅 福田 浩巳

副将 宮下 祐一

大将 長谷部 徹



大島剣道クラブのみなさん

## 参加者募集

### ツツザキヤマジノギク観察会 松川町中央公民館「第6回地域を知る講座」in天竜川

開催日：11月1日(土)《少雨決行／雨天中止》

集合：天竜川元大島現地 9:00～(11:00頃終了)

受付：8:30～(FAX、電子メール、電話のいずれかで、事前にお申込みください。)

松川町の天然記念物「ツツザキヤマジノギク」は、日本でも長野県内だけにみられる希少な植物で、秋に美しい花を咲かせます。

地域の宝を見て・知っていただくとともに、植物調査の体験を行う講座です。

詳しくは、中央公民館までお問合せください。

中央公民館

電話：36-2622 FAX：36-6620

電子メール：c.kouminkan@matsukawa-town.jp

## 暮らしの知識を学ぶ講座 第4回受講生募集

日時：11月18日(火) 19:00～

講師：健康運動指導士 牧内 隆雄 氏

内容：介護予防運動 応用編

いつ、自分が介護する立場になるか、介護される立場になるかわかりません。介護予防の観点から、生涯現役・100歳人生を目指せるような運動を学び、実践していきましょう。今回は、前回の基礎に続いて応用編を学びます。

お申込み・お問合せは、中央公民館(電話：36-2622)までお願いします。

## 松川町駅伝30周年記念大会

日時：11月9日(日) 9:10スタート  
スタート・ゴール：松川町営グラウンド

今回は、30回目の記念大会です！  
多くのみなさんのご協力、ご声援をよろしくお願いします。

信毎多目的広報車「な～のちゃん号」も来るよ！



## 公民館活動推進功労者表彰 水野 耕一郎さん(桑園東部)

くだものの里松川では収穫の秋の真っ只中です。上大島で果樹農家を営む水野耕一郎さんも、この季節は一年間育ててきた果樹の収穫に追われています。

水野さんは今年の3月まで松川町公民館社会部員を務めていました。13年間という長い期間活動をされてこれ、このほど長野県公民館活動推進功労者表彰を受賞されました。

た。この13年間を振り返り、水野さんは「やってよかった」と話されます。

水野さんが公民館社会部員になったのは、平成13年、26歳の時です。消防団にも入っており、仕事・消防・公民館など忙しい日々を送ってきました。思い起こすと「最初はイヤだった」そうですが、長くやってきたことである人たちがと出会うことができ、

そのことがとてもよかったと振り返っていました。

社会部の皆さんが取り組んでいる「あいさつ運動」が始まったときに、すでに水野さんも社会部員の一人であり、この活動の発展に尽力されてきました。

長い公民館活動が認められての今回の受賞、本当におめでとうございます。



## すぽっと

### 身近な 史跡を訪ねて 上片桐地区公民館

朝晩めっきり涼しくなった9月14日。上片桐地区公民館の歴史めぐりがありました。

晴天のもと、史料館の酒井さんの案内で、まずはぼたもち山



船山城跡のお稲荷様

へ。  
松川高校へ行く途中にあること

は何となく知っていました。正確な位置は今回始めて知り、毎年花火の音がする、ああ、ぼたもち山のお祭りかな？というくらい認識が確固たるものになりました。

その後、清泉水の石仏群を訪れ、いよいよ船山城跡へ。

船山城跡も話を聞いたたりして知っているつもりでも、訪れるのは初めて。

御射山神社から、梨を収穫している人に挨拶しながら船山へと山道に入っていきます。途中までは道らしく？整備

されていましたが…。船山稲荷のある所へは、長い笹竹につかまって斜面を降り、今度は笹竹を伝って登り、広場のようになっている城跡へと到着。

信濃武士の片切氏によって築城されたといわれる船山城は松川町と中川村にまたがって存在していて、もう少し整備されていれば、中川村が一望できたよう残念。

酒井さんの楽しい説明にうなずきつつも、丸めた資料で蚊を追いかうことに。半袖はダメでした。

大変な思いもしましたが、身近にある大切な史跡を理解できた有意義な時間でした。

## こころの詩

ぼくはどっへ？  
松たけたくや

(東小4年 橋場郁選)

よいしょ よいしょ  
太陽の光が見える

赤松さんこんにちば

えいよつをありがと

何だ？サツサツと聞こえるぞ

わー人間だ

左右にゆられて

ぬかれてタンホールに入る

ほくどここに行くの？

ここは学校か

しつかり洗われ

トントンの切られて

ごはんとつつしよに

なれたよ

松たけごはんになつた

「おいしい」って

言ってくれてありがと

## やっぱり好きだ！

もみじ明な

(東小4年 清水和歌)

私はこの季節になると

赤くそまつてゆく

オシヤレだといわれるけど

色々な色になりたいな

はあくいちょうさんみたいに

黄色になりたい

オレンジ色にもそまりたい

だけど

赤が一番だと

思ったこともある なぜなら

お母さんとタヤけさんと

同じだから

やっぱり好きだ！

## 俳句

秋の花

北原 泊瀬(宮坂)

白萩の尾の長ながと崖くだる

ありなしの風にはにかむ吾亦紅

単線の始発へ掌ふるすすきかな

コスモスや風遊ばせて抗わず

鶏頭の真紅に燃えて深き黙

人声のやさしくなりぬ菊日和

毎月第3日曜日は  
家族ふれあう  
「家庭の日」



まちの石仏 ③⑤

## 「観音菩薩(聖観音)」(円通庵)

人々が求める救いに応じる菩薩で、人々に悟りの法を解く如来に対し、観音は現世利益の救済を施す存在と言われている。



# 声

## 「狼煙(のろし)体験」に参加して

林 直子 (部奈)

有線放送で「狼煙(のろし)体験」があることを知り、夫とちようど来ていた姉を誘って3人で、9月6日8時、狼煙(のろし)作りから体験させていただきました。今年で3回目ですが初めての参加です。前日も翌日も雨でしたが、その日は晴れ

て気持ちのいい朝でした。台城から遠望する伊那谷はたっぷりガスっていてちよつと心配。風はほとんどありません。点火の時間までに晴れてくれるといいなという感じでした。狼煙(のろし)の材料はすでに用意して下さつてありました。矢澤公民館長さんから



手際良く狼煙の準備

作り方の説明をお聞きし、2メートルくらい青竹を3本まとめ半分より下を1か所針金で巻いて建て、稲わらははざ掛けにのせ、その上に杉のなま枝をのせて完成です。狼煙(のろし)作りの参加者は数人でしたので、たくさん手を出すところがあつてやりがいがありました。ガスも幾分薄くなり、だんだんに人も集まつて、本丸南端から注目すること十数分。「9時に根羽から点火して、くると9時10分ころには山本、下條あたりの狼煙(のろし)が見えるはず。」と言われても私、初めてでわからない。目のいい人が出ると、出ると、とまず見つけ、はるか遠くに



天まで届け、と上がった狼煙

うつすら白い煙が上がっているのがやっと分かりました。背景の白いガスに紛れてしまいが、それで頼りなげでしたが、まつすぐ上がっていて、一度わからんと見失うことはありませんでした。確認したので台城も点火、残してあつた枝もどんだんのせます。リレーであつて勝ち負けではないのに、ほかに負けるな天まで届けの気分でなかなか面白うございました。台城の次の狼煙(のろし)は陣馬形で、本丸北端へ移動して見る間に陣馬形からも煙が上がり、確かに狼煙(のろし)はリレーされていきました。

その晩、シニアの狼煙(のろし)勉強会は晩酌の良きつまみとなりました。

子どもが寝た後、洗濯物をたたみながら、家庭を任せて自分が仕事に専念できるのは妻の日頃の支えのおかげなのだと思つて、感謝の気持ちを伝える。年一度母の日に感謝を伝えるよりも、月に一度妻が風邪をひいてくれたほうが我が家にとっては本当の意味で感謝できると思う。そうはいっても毎月風邪をひかれては困るので、一日一回は妻に感謝のありがとうの言葉を自分であらうと思う。(大東洋文)

## 2022年

妻が風邪で寝込んだとき我が家に不思議な現象が起こる。いつも怪獣のように暴れまわっている子ども達が、借りてきた猫のように静かになる。

静かになるだけならなんとなく想像できるが、素直になるから不思議だ。

食事のとき。いつもなら円卓の周りをぐるぐる回りながら落ち着きがないのにちよこんという子に座つて残さず食べて片付ける。寝るとき。いつもならなかなか寝付かずあの手この手で早く寝るようにやきもきするが、勝手にベツトに行きそのまま就寝。

風邪の母親を思う優しさ、お父さんは何もできないから頼らずに生きていこうとする本能から生まれるたくましさ、素直さなのだと思う。

子どもが寝た後、洗濯物をたたみながら、家庭を任せて自分が仕事に専念できるのは妻の日頃の支えのおかげなのだと思つて、感謝の気持ちを伝える。年一度母の日に感謝を伝えるよりも、月に一度妻が風邪をひいてくれたほうが我が家にとっては本当の意味で感謝できると思う。そうはいっても毎月風邪をひかれては困るので、一日一回は妻に感謝のありがとうの言葉を自分であらうと思う。(大東洋文)

公民館報

「まつかわ」

第 612 号

平成26年10月15日

発行所 松川町公民館

責任者 矢澤 登

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。